

佐倉市V連協だより

【発行】
佐倉市ボランティア連絡協議会
【連絡先】
佐倉市ボランティアセンター内
TEL:043-484-6198
<http://www.sakuravren.com/>
E-mail info@sakuravren.com

ボランティア連絡協議会
会長 稲村多恵子

平成30年度事業にご協力ありがとうございました。「笑顔をとどけよう」をテーマに事業を企画し進めてまいりました。研修会、広報紙「はらっぱ」第37回ボランティアのつどいの開催に向けて活動する中で、会員同志の新たな出会いがあり、互いに交流を深めていくことができたのではないのでしょうか。

今年度の事業はV連会員と地域でボランティア活動をされている方々にも関わっていただき、皆さまの笑顔とお知恵を借りながら、事業を進めていくことができましたことに感謝申し上げます。今後もV連の事業にご協力をお願いいたします。

第1回運営委員会(総会)のお知らせ

日時：平成31年4月21日(日)

午後1:30~3:30

場所：西部地域福祉センター

内容：①平成30年度活動報告

決算及び会計監査報告

②平成31年度活動計画及び予算案

研修会：「目に見えない精神疾患を知り

より添える人に」

かぶらぎ会会長 大賀四朗さんのお話



第37回ボランティアのつどい 開催中止に至る経緯とお詫びと御礼！

2月11日開催に向け鋭意準備してまいりました。前前日の降雪や前日の悪天候の予報にも何とか開催をと会場の設営に努めましたが、当日早朝の気象庁による千葉北西部に大雪注意報発令を確認し開催中止を余儀なく決定いたしました次第です。ご来賓の方、講演会の講師の方々与会場の設営された団体及び事前に参加申し込みのあったボランティア団体の皆様と運営スタッフへの中止連絡をいたしました。至らず来場された方もおられ以降の中止連絡の方法の検討が必要と反省会の議題となりました。

実行委員会は昨年7月より開催に向けての討議を重ね「目に見えない精神疾患を知り、より添える人に」をテーマとし関係各位からの提言や提案をお聞きして講演会や啓発の寸劇により理解を深める事と歌声広場に体験タイムなどで年に1回ボランティア団体間の交流を深めたいと企画してまいりました。反省会で求めたテーマは来年度開催のテーマとして継承すべしと委員一同の意見となりました。

最後に平成最後の「ボランティアのつどい」の開催に向けてご協力を惜しまなかった皆様へ心より感謝申し上げます。

つどい実行委員長 友崎彰

平成30年度 佐倉市福祉功労者表彰式で
下記のV連会員さんが表彰されました。

おめでとうございます

佐倉市社会福祉協議会会長表彰

高橋正彦さん

上村綾さん

社会福祉協議会福祉活動功績者表彰

今井邦江さん

川島幸一さん

手嶋慎也さん

松崎由美子さん

久保正法さん



使用済み切手収集の会 報告

毎月第3月曜日 10時より11時半に、新しい会員さんも加わり16名で使用済み切手を整理しています。

今年度は2月末に使用済み切手38.5kgを業者の方へ買っていただき15,400円になりました。

売上金は、一定額集まりましたらボランティア活動等に活用します。ご協力ありがとうございました。

また、今年度集まった使用済みインクカートリッジ約4kgを根郷小学校に届けてきました。(バルマーク対応で収集している小学校に届けています)ありがとうございました。

第10回 障害者作品展 ふれあいギャラリー 報告



作品を展示中

昨年9月28～30日に佐倉市立美術館にて第10回障害者作品展『ふれあいギャラリー』が開催されました。

福祉施設、支援学級、個人、年齢を問わず障害のある方の作品(絵、写真、書、陶芸、織物他)265点が集まりました。

実行委員会(ボランティア連絡協議会、城の辺地区社協、東部地区社協、障がい者団体等連絡会、他)が協力し展示、運営しました。今年も素晴らしい作品が沢山あり、制作者の思いがいっぱい伝わってきました。

ボランティア・市民活動フェスタ2018 in 佐倉 報告

日時:平成30年11月25日(日)

会場:中央公民館 & 駐車場

中央公民館1階右奥のラウンジで、今年も障がい者団体等連絡会と一緒にしました。

V連は日常生活での困り事や不便さを知り、困っている方にさりげなく声をかけられる人が一人でも増えることを願い、車いす体験、疑似体験(視野狭窄による見えにくさの体験)の2つの体験コーナーを設けました。また、障がい者に関するマークを、楽しく覚えてもらおうとクイズにしました。スタッフ14名(根郷地区社協から7名含む)、参加者135名(大人93名、子ども42名)とたくさんの方に参加していただきました。



障がい者団体等連絡会 紙芝居



車いす体験

車いす体験は子どもの参加が多く「腕力が必要」「坂道がきつい」などの声が聞こえましたが、車いすを真っすぐに進ませることが難しかったり、下り坂でスピードが出すぎたりと、真剣に車いすを操作していました。

疑似体験は親子やご夫婦で参加される方が多く、視野狭窄ゴーグルをつけた途端に、「全然見えない!こんなに見えないんだ…」と、広告や申請用紙だけでなく、周りを見渡していたご夫婦。軍手をつけて一生懸命チラシをめくっていた男の子の姿がありました。

「障がい者に関するマーク」のクイズは意外と知られていませんでした。



第2回 運営委員会 報告 第1部

日時:平成30年12月9日(日)午後1:30～3:30

会場:西部地域福祉センター (出席者:29名)

- *平成30年度4月～12月活動報告
- *「ボランティア・市民活動フェスタ2018 in 佐倉」報告
- *「第37回ボランティアのつどい」お知らせ
- *「はらっぱ」第45号の編集状況(平成31年2月13日発行)
- *その他 ◦新会員の紹介 若月満さん、
◦次年度V連役員のお誘いの呼びかけ

第2部 研修会 佐倉市立美術館出前講座ミテハナソウ



アートカード体験

<参加者の感想>

- ・絵を見てイメージは無限に広がる(果てしない)
- ・ちぐはぐなカードで共通点を見つけるのがおもしろい。
- ・絵を見て最初に感じたイメージが、他の人の意見を聞くことによって、どんどん変化していくところがすごくおもしろい。感じたことを言葉にすることが楽しいと感じた。
- ・様々な研修会がありますが、今日のような「ミテ・ハナソウ」研修は年齢、世代関係ないですね。「人間らしい個性」が見られますね。聞かれますね。ありがとうございました。



運営委員会